

講義名	英語A（総合）			授業形態	
担当教員	中川 典子	開講期・曜日・時限	後期 金曜日 3時限		
		単位数	2	履修開始年次	1年生

### 主題と概要

このクラスでは、高校までに学習した英語内容の復習を含め、実用的かつ基本的な英語力の向上を目指す。また、国際感覚を養うために、自ら積極的に英語を使ってコミュニケーションをはかろうとする態度を育成する。「音読」や「筆写」という練習法を取り入れた総合英語テキストを使って、確実に英語力アップにつながる授業を展開する。また、Moodleという自主学習用共通教材を使って英文法や基本的な英語表現を学習する。このクラスの主題は、「外国語の習得と、それを通じてグローバルな視点から、海外の社会や文化について学ぶことを目的とする」という本学グローバル科目の趣旨に沿ったものであり、「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーに貢献するものである。

### 到達目標

共通教材: 基本語彙と文法事項の確認と定着を目指す。  
 個別教材:  
 (1) キャンパスライフを舞台にしたテキストを使って、英米の大学や異文化理解に関する知識を獲得できる。  
 (2) リスニング練習と音読によって、対話の大意が理解できるようになる。  
 (3) テキストの音テマに沿った語彙を習得できる。  
 (4) 高校までに学習した英語の基本文法を習得できる。  
 (5) TOEICのリスニング、リーディング問題の形式に慣熟できる。  
 上記の到達目標は「豊かな社会の実現に貢献できる意欲と能力を持ったビジネスパーソン」を育成するという本学共通科目のディプロマポリシーの達成に役立つ。

### 提出課題

基本英文法に関する演習問題、テキストの演習問題、等の課題を毎回、授業の前後に課すので、期限までに提出する。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

共通教材: 登壇の小テスト問題について授業内で解説する。  
 個別教材: 登壇の授業の準備のために、ワークシートの課題に取り組み、また、授業後に出された課題に取り組み、提出する。小テスト（英文法やテキストの学習内容）を実施し、内容について解説をする。

### 評価の基準

(1) 出席状況、授業中の活動状況、小テスト、および提出課題などの平常点（50%）  
 (2) 共通教材期末テスト（25%）  
 (3) 定期試験（25%）

### 履修にあたっての注意・助言他

(1) コースの評価は、上記の成績評価基準のすべての項目を総合して行うが、一つでも不参加の項目がある場合は不合格となる。  
 (2) 講師が入室したときに教室にいない学生は遅刻者と見なす。特別な理由がない限り遅刻厳禁。  
 (3) 規定の時間以上の遅刻は欠席となり、また、規定以上の回数欠席すると単位が取得できない。  
 (4) 教科書は必ず購入すること。当然、購入しているという前提で授業を実施します。教科書がないことにより生じる不都合は自己責任となる。また、教科書を購入しない人は単位を取得できない。  
 (5) 提出課題を含むすべての連絡はRyuka Portalの「講義連絡」を通じて行うので、必ず毎週確認すること。

教科書	.Let's Read Aloud & Learn English.	Teruhiko Kadoyama & Simon Capper	Seibido	2,200	978-4-7919-7182-4
-----	------------------------------------	----------------------------------	---------	-------	-------------------

### 参考図書


### その他

基本英文法の資料やワークシート、を適宜、Ryuka Portalの「講義連絡」を通じて配布、使用する。

### 授業計画

- Unit 1 I hat's your major? Moodle共通教材 ガイダンス
- Moodle共通教材 Set 1/ U2 How do you like your new school? ?
- Moodle共通教材 Set 2/ Moodle Quiz1 U3 Let me introduce a new member to you.
- Moodle共通教材 Set 3/ Moodle Quiz2 U4 How was your Golden Week?
- Moodle共通教材 Set 4/ Moodle Quiz3 U5 I'm looking for a part-time job.
- Moodle共通教材 Set 5/ Moodle Quiz4 U6 What do you call this in Japanese?
- Moodle共通教材 Set 6/ Moodle Quiz5 U7 Have you been there?
- Moodle共通教材 Set 7/ Moodle Quiz6 U8 Could you tell me how to get there?
- Moodle共通教材 Set 8/ Moodle Quiz7 U9 What do you want me to do?
- Moodle共通教材 Set 9/ Moodle Quiz8 U10 I'm on a tight budget.
- Moodle共通教材 Set 10/ Moodle Quiz9 U11 What do you think of this program?
- Moodle共通教材 Set 11 Moodle Quiz10/ U12 I'm reviewing what I studied..
- Moodle共通教材 Set 12/ Moodle Quiz11 U13 Final exam week is so stressful!
- Moodle Quiz12 U14 Is this your first trip abroad?
- Moodle共通教材期末テスト

\* 授業の進捗状況により、登壇に内容が持ち越される場合がある。

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

共通教材:  
 (予習) 次の授業で解説されるセット問題をRyuka Portal上のムードルにアクセスして解く。  
 (復習) 授業で解説を聞いた後、次週のクイズ（小テスト）に向けてそのセット問題を復習する。（合わせて2時間程度）  
 個別教材: (予習) 登壇の授業のワークシートを完成し、提出、次回のクイズの準備（1時間）  
 (復習) その日に学習した内容の復習（授業で学習した基本英文法、語彙やリーディングセクションの見直しと音読、リスニングセクションの聴解）（1時間）

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

基本語彙と文法事項を定着させることで実用的かつ基礎的な語学力を修得する。また、読解練習を通して海外の社会や文化について学び、基本的な読解と内容理解・情報収集に習熟することにより、卒業時に身につけておくべき読解・能力の基盤につなげる。これらの能力は専攻生に求められる音楽界の動向や問題点を理解するための基礎知識・経済学部生に求められる経済にまつわる情報分析の力・人間社会学部生に求められるコミュニケーション能力の修得に役立つ。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

会話文の役割演習クラスメートと行い、クラスで発表することにより双方向性授業を目指す。授業中やGoogle formを使って質問やコメントを毎回提出することを必須とする。すべての内容を登壇の授業で紹介し、質問に回答する。

### 実務経験の有無及び活用

### 備考

前掲のように、教科書を購入せずに受講した場合、単位は認定されません。教科書を持っていないことによって起こる不都合は自己責任となります。第1回目の授業で履修に関する重要事項を伝えるので、必ず出席すること。